

新システムで卒業アルバム制作を効率化 少子化による小ロットの受注に対応



「Prinerger Workflowシステム」導入で制作業務が大幅に効率化した

株式会社大塚カラー

企業情報

〒322-0013 栃木県鹿沼市深津854-5 TEL:0289-76-1016 FAX:0289-76-1579
URL: <https://www.o-color.com/> E-mail: info@o-color.com

代表取締役／大塚 康弘 設立年／1962年(創業1952年)
資本金額／9,800万円 従業員数／80名

事業内容

- 各種出版物の刊行、各種印刷及びその企画並びデザイン業務
- カラー写真の現像・焼付・撮影、写真に関する材料及び機器の販売



株式会社大塚カラー

実施事業

少子化に対応するための
卒業アルバム等の制作の効率化

作業の省力化とともに製品の安定化も目指す

卒業アルバムの制作は当社の業務の大きな柱になっていますが、近年、少子化の進行によって、各学校からの注文は小ロット化が進んでいます。しかし、小ロットであっても制作にかかる工程数は大きくは変わらず、従来の方法を踏襲したままでは、1冊当たりの制作単価が高くなっていくことになり、制作工程の効率化が求められていました。

出版物には、お客さまに制作内容を確認していただく「校正」作業があり、お客さまと打ち合わせする時間の短縮化が必要でした。また、校了したデータは、ページが正しく並ぶように配置する「面付け」の作業を行います。面付けは、1件あたり1時間程度を要していたため、この時間を短縮することも課題でした。

さらに、制作を効率化し、安定した品質を確保するためには、「カラーマネジメント」の平準化が欠かせません。これらの課題を同時に解決するため、新たにコダック社の「Prinerger Workflowシステム」一式を導入し、各工程において、大幅な効率化が実現できました。



お客さまとの打ち合わせ時間の短縮化が実現した

校正にネット活用 面付けや色調整も時間短縮

「校正」に関しては、「Prinerger Workflowシステム」の「InSite」の活用でインターネットを利用した校正が可能になりました。初回は、営業担当者が紙に出力して直接お届けしますが、2回目以降は、お客様が手元のパソコンで修正を入力することができます。特別なソフトを導入する必要はなく、また、都合のよい時間に校正ができるのが特徴です。その結果、従来は訪問時間含め1時間半かかっていた校正が、わずか10分程度でできるようになりました。

「面付け」作業は、新システムの導入により、各編集者のパソコン上で編集作業と並行して行えるようになりました。PDF面付けソフトウェア「Preps」は、ページ物の面付けはもちろん、端物、大貼り面付け、殖版作業まで幅広い仕事に対応できます。1件当たり平均1時間程度かかっていた面付け作業が、30分以内で可能になりました。

「Color Flow」では、デバイスごとに行っていた色管理を「Prinerger」に統合し連携させることで、煩雑だったカラーマネジメントシステムを効率化してコストダウンに貢献しています。社内的には組版作業と製版の間の壁がなくなり、制作業務全体の作業効率が大幅に向上しました。

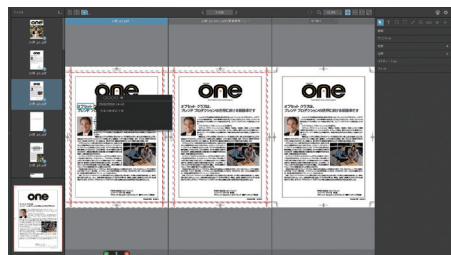


大幅な効率化が実現した「Color Flow」

アルバム制作で培ったノウハウを他分野へ応用

当社は栃木県、茨城県、群馬県の北関東3県及び、東京都多摩地区の卒業生約4万5,000人向けにアルバムを制作しております。アルバムで培ったノウハウは、生徒会報や学校案内、文化祭ポスターなど、学校関係の多様な印刷物や、企業向けの冊子など商業印刷に応用できます。コスト削減により、これまで断念していた小規模な学校などからの受注も可能になりました。さらに、当社は写真などのコンテンツを多数保有している強みがあり、今後も蓄積できることから、インターネット写真販売サービスの「スクールフォト」分野への拡大も期待できます。これらによって、さらなる業績拡大を目指しています。

本事業の実現によって営業、生産ともに業務の効率化が達成され、新規の顧客開拓に結び付けることが可能になりました。お客様の立場からも学校内において先生たちの負担を大幅に軽減することができ、働き方改革が叫ばれる昨今、その一助になったのではないかと考えています。



「Prinerger Workflow」システムの運用画面

Comment

専務取締役 ブランドマネージャー 引地 靖

卒業アルバムの文化を残すために努力

日本は今、少子化が進んでいます。それに伴い、学校用の卒業アルバムも小さな単位でのご注文が増えてきました。私ども印刷会社としては、コスト面で大変厳しい状況におかれています。私たちは、卒業アルバムをひとつの文化であると考えています。長いお付き合いをいただいている学校もたくさんあり、そこには心と心が通い合う関係が築かれています。新たに導入したシステムを使ってコストダウンを図り、貴重な文化が途絶えることがないよう取り組んでいきたいと思っています。

